本日の研修で気づいたことについてご記入ください。
自己決定できる方とできない方へのそれぞれの対応について考えさせられました。支援者の連携したアプローチで、本人にとってどうあるべきかを見誤らないように仕事していきたいです。
日々、あまり深く考えずに対人援助をしてしまっているなと感じました。研修で改めて考えることが出来、日頃の関りなど見直すきっかけになりました。ありがとうございました。
疾患等、原因、根拠を持って関わることができていなかった。ありがとうございました。
自立支援についてはかかわる事はあまりないのですが、最近、精神障害の方にかかわる事が多くなってきています。認知症を含め、知的・精神障害について、もっと知識を深め、理解していきたいと思います。
ほめる・ほめられる。そんな人間関係を築いていこうと思いました。
2040年に100歳以上が30万人もいるだろうと聞き、驚きました。2040年、自分は認知症になっていないことを切に思います。
本人を中心に考えるっていうことは本当に深く、難しく、そしていかに専門レベルの部分が大事であるか感じられました。
障害者福祉に従事しているので、高齢者の事例については初めて聞くことも多くありましたが、グループワークの中で、実際の現場にたずさわっている方たちの貴重な話が聞けて良い勉強になりました。ありがとうございました。
グループワークのメンバーの方々がとてもレベルが高く、とてもいい勉強の機会になりました。
説明してもわからないことについては、その人の判断力を評価して伝えること。伝えないことも必要だということがわかりました。
本人主体でなければ支援ではないと感じました。１カ月の間に本日の宿題を意識しながら仕事を頑張ります。ありがとうございました。
改めて認知症の理解ができました。しかし、実践で活かすまでにはむずかしい。
知らないことばかりでした。大変勉強になりました。
わかっているつもりでわからなかった認知症。本人を知って、本人の思いを知る事って大変です。もっと研修が必要と思いました。ありがとうございました。
専門性についての知識が足りていないのと、立ち居地は利用者目線に立っていると自分で思っていたが、そうではない自分に気付いた。困った事が何から何の原因でそうなっているのかを判断して検討することが大切だと思いました。当たり前の考えであるが、当たり前ではなく、事例のように職員目線で考えている。次のカンファレンスで実行したいと思います。
あっという間に研修時間が終わってしまいました。「本人を中心に視る」ことは頭では分かっていたけど、そこまで細かく視ることがおろそかになってしまっていた自身に気づかせていただきました。研修の事例が挙がる度に、自身の担当しているケースがいくつも思い浮かんでいました。１０月の研修までに宿題を実行する中で、また自身で気づくことがまだあるのだろうなと、すでにこのアンケートを書きながら感じています。
病気や障害がその人をそうさせているのだという事を改めて理解できたが、その病気や障害を理解しているかと言えば、あいまいな知識で日々の支援を行っている事に気づかされ、日々勉強しなければと思いました。
本人を中心に考えるということがどういうことなのか、病気・障害を知るということが本人中心になるということがわかりました。事例を通して考えると、つい、今の問題を見てしまいました。病気から考えるということを頭において考えていきたいです。難しかったです。周りの人を誉めること、利用者のよいところを伝えることもやっていきたいです。
基本的なことですが、忘れがちなことを再認識できました。理解していることを支援につなげていくを意識したいと思います。楽しい研修でした。ありがとうございました。
本人中心とはわかっているが、なかなかどうしていったらいいかわからずにいたが、しっかりとその人の能力を理解する事で家族とか周囲に説明もできるようになり、実践できるのかと思いました。

ごく当たり前の生活ができるように支援。どういう障害がそうさせるのか、専門性を活かせる支援。
判断能力をいかに評価し、実践につなげていくか、本人主体のマネジメントを日々意識していく必要性を学びました。
障害・病気について、しっかり理解しないとケアができないと思った。入所している利用者さんについて、改めて詳しく勉強するつもりです。プロとして知識を持ち、実践しなければいけないですね。
様々な関係機関の方々と一つ一つのテーマについて話し合えてとても刺激になりました。グループワークを通して伝えることの難しさも同時に感じました。次回もしっかり勉強させていただきたいと思います。ありがとうございました。
私自身、職場において利用者優先で行動していたつもりではあったが、まだまだ自分の「主観」で動いていることが多いと気づかされました。早速、現場で生かせたらと思います。次回も楽しみにしております。
頭では病気や障害について理解していたつもりであったが、細かい所まで見れていなかったと感じた。（ちゃんと理解できていなかった。）
起きている問題を解決しようとする前にその人をしっかり見て理解することが大切だと思いました。
記憶障害→長期・短期記憶以外にももっとこまかく記憶の種類がある事を知って勉強になりました。ありがとうございました。
答えの出ない分野を扱っていて、どうすることが本人のためになるか、それが本人にとって本当にためになっているのかを判断するのはとても難しいことだと思います。また、介護者も人間であり、知識があれば望ましい介護ができるかといったらそうでもないと感じます。望ましい介護につなげていくためには、まず介護者が安心してゆったりと勤められる職場や制度作りから始めることが必要なのではないかと感じています。
講義のみの学習ではなく、ワークショップ型の時間の流れで、日々の気づきができる研修会でした。気づいたことをどう実践にいかせるかが課題として自分に課したいと思います。
自分の役割を認識できました。もっと勉強しなければいけないと思いました。また、利用者さんの思いをもっと尊重していけるようにしていきたいです。80歳女性のＴさんの事例勉強になりました。
自分が忘れていた利用者の目線で考える事を思い起こす事ができました。表面だけではない利用者の気持ちのあり方を、障害を知る事で深く掘り下げる事ができそうな気がしています。
長年この仕事をしているにも関わらず、「あたりまえ」と思ってしていることが、とても難しい事であったり・・・もう一度見直すことも大切と感じました。
実際に現場で起こってしまっている事例に当てはめて、わかりやすく解説していただいて、今後どのような部分で利用者さんの意向を大切にしていけば良いか参考になりました。
福祉の現場で働いてはいますが、何気に知っているつもりでいた事でも考え方を見直すことができて、改めて見方を直させられる良い機会でした。良かったと思います。
日頃の忙しさにかまけ勉強不足を痛感した。ひとつのことを掘り下げて深く理解することが本人を中心として理解することにつながり良い支援につなげていくことを知ったし、大切なことだと思った。
私以外は介護の専門職で大変有意義でした。とても楽しかったです。
どういう障害がそうさせているのかということを考えながら支援していきたいと思います。専門性を高め、障害を理解し、自己決定を尊重して支援できるようになりたいと思います。
専門性、自分の得意なことがはっきり言えるように、自分はこれは任せて！というものがあると支援にも役立つと思いました。自己決定と自己責任が違うということを改めて感じました。
自己決定と自己責任は違うということ、病気や障害がさせていること、どの程度なのかを理解することで、自己決定できる人なのか、判断していくことが良く理解できました。専門性、関係性も重要になってくると改めて思いました。勉強になりました。ありがとうございました。
話が大変わかりやすい。言ったほうがいいか、言わないほうがいいかではないところ、言葉で説明するのが難しい部分がすっと入って参りました。次回も楽しみです。

グループワークでの他事業所の意見発表をもう少し聞きたかった。認知症の症状も様々です。支援の意見、方法も様々です。正しい答えはないと思いました。病気の理解をし、本人中心に考えられるケアマネになりたいと思います。
専門性は難しいので、自分のどこかで受け入れず考えないようにしていました。頭が痛くなると思いますが、考えながら毎日仕事をしていきたいと思います。
決めるという手続を踏むには複雑な過程がある。情報理解力、記憶力、比較検討する力、伝達する力、どのところに支援ができればいいのか考えて実践できるようにしたい。
自己決定の難しさを感じました。専門職として勉強必要と思いました。
司会の人をはじめ、グループ内のケアマネージャーさんたちの意見を聞く事ができて、沢山の事に気づくことができました。他事業所のケアマネさんの考えや仕事の姿勢が良い刺激になりました。自己決定の難しさ、改めて感じました。
長いこと高齢分野で職についていますが、認知症についての専門知識すらまだまだ不足していると胸の痛い3時間でした。まだまだ勉強していかなければ・・・と感じました。
いろいろな事業所の話を聞いたり、講義から普段気づかなかったり、見過ごしたり、気にしなかったりすることがすごく重要な意味だったり、ヒントが隠されていると思いました。支援に生かせるよう頑張ります。
権利擁護の言葉を考える前に病気を知り、障害を知り、本人を中心に考えることが大切と勉強になりました。
目先の問題にとらわれてしまい、本人の思いや意思等を理解できていない事が多々あったと思います。その方の障害や状況を充分理解してケアにあたる大切さを勉強させていただきました。ありがとうございました。
本人の特性や障害等をしっかり理解し、本人の意思決定ができるように支援したり、接していきたいと思います。